

平成24年5月10日

都内私立中学高等学校

校長 殿
理科担当教諭 殿
社会科担当教諭 殿
関係教職員 殿

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会
会長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 清水 哲雄
理数系教科研究会委員長 鈴木 弘
環境教育研究会委員長 村上 精一
〔 共催：公益財団法人 東京都私学財団 〕

理数系教科研究会（理科・生物）・環境教育研究会「合同講演会」のご案内 「 生物の力を借りて循環型社会へ 」

新緑の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、理数系教科研究会（理科・生物）と環境教育研究会による東京農業大学の長島孝行先生の合同講演会を開催いたします。

校務ご多忙の折とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時：平成24年6月25日（月） 午後5時30分～7時30分
2. 場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館） [案内図参照] 千代田区九段北4-2-25 TEL03-3261-9921
3. 内 容：生き物の構造や機能を模倣し、モノづくりに活かすことを「バイオミメティクス（生物模倣技術）」といいます。陸上動物の中で特に多様性に富み、進化した昆虫の機能を利用し、再生可能な資源をつくるのが、人間にとって真に豊かな社会になると思われまふ。未だ石油に依存する20世紀型の産業構造から抜けきれない状況が続いていますが、それを要えるには、再生可能な資源を生み出し、有効に使っていくという考え方に立たなくてはなりません。また、昆虫の力を借りる「インセクト・テクノロジー」は、その手助けになる技術だと思っています。地球環境を守る再生可能な資源は森や川、そこに生息している動植物から生み出されます。また、天然の力である太陽や風や水、地熱などのエネルギーを最大限使いながら循環型社会をめざすべきです。自然環境を守りながら、私たちの生活を豊かにしてくれる昆虫の機能を活用したモノづくりを紹介しまふ。
4. 講 師：東京農業大学農学部農学科 長島 孝行 教授
【プロフィール】1955年、埼玉県生れ。中学時代は洞窟学のとりこになり、高校時代は生物の発生に興味を持つ。83年、東京農業大学大学院博士課程修了。高校、予備校、専門学校の講師を経て、2001年に現職に。農学博士。日本野蚕学会評議委員、千年持続学会設立準備委員、愛知万博では生物力の監修者などを務め、洞爺湖サミットやCOP10にも参画した。昆虫の機能を活用したモノづくりに関連した著書も多数で、マスコミやテレビ出演も多く、科学技術振興機構（JST）の未来を担う科学者達に2度選ばれるなど、生物と共存した持続可能な社会作りを提言して注目されている。
5. 募集人数：70名 （定員になり次第締め切りとさせていただきます）
6. 参加費：無料 （当協会会員校の拠出金と東京都私学財団からの補助金で運営されております）

7. 申込方法：6月20日（水）までに下記宛に郵送又はFAX、Webにてお申込みください。

URL <http://k.tokyoshigaku.com> ※東京私学ドットコム内のコンテンツです

〒102-0073 千代田区九段北4 - 2 - 25 私学会館別館4階

東京私学教育研究所 理数系教科研究会 担当：佐瀬・灰垣

環境教育研究会 担当：岡沢・岡田

Tel：03(3263)0544 Fax：03(3263)0560

8. 会場案内図



■交通のご案内

- ・JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
- ・地下鉄有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 A1 出口
- ・地下鉄都営新宿線
市ヶ谷駅 A1 またはA4 出口

上記各出口から徒歩約2分

理数系教科研究会（理科・生物）・環境教育研究会「合同講演会」参加申込書

[6月25日(月)実施]

学 校 名	氏 名	担 当 教 科
TEL ()		

平成24年 月 日

東京私学教育研究所 御中

校長 _____ 印

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略致します。（本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です）
 申込確認が必要な方は、下記にご記入下さい。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号：
-----	--------